

市間山・立岩山を登って

やまぼうしの定例山行下見で、市間山、立岩山を登った。
5月23日の予定だった定例山行は、コロナ禍のために中止。

日時：2021年5月3日（月・祝）

メンバー：CL 川谷、SL 中田、川后、佐々木

行程：市間山登山口 10:00～11:00 市間山 11:10～12:10 立岩山 12:50～13:30 日の平山～14:10 立岩山～15:00 市間山～16:00 登山口

感想：杉や桧の人工林の里山歩きは、薄暗く湿っていて、気持ちがふさぐ。

その点、ブナ林などの山歩きは、晴れやかで気持ちが良い。

「サルメンエビが咲いているかも」と聞いて5月の連休に、市間山、立岩山と日の平山を往復してきました。

登山口から急登を尾根筋まで登るとブナなどの自然林が新緑のトンネルと可憐な野花で迎えてくれた。

花担当のSLから花々のレクチャーを受けながら登ると、あったーとの声、可憐なサルメンエビネと対面することができた。日の平山まで往復して、7、8株のサルメンエビネを見つけることができた。

絶滅危惧種にも指定されているサルメンエビネは、数年前までまだまだたくさんの株が見られたとのこと。

立岩山山頂は、畳十畳ほどの広さで、眺望が良い。

立岩貯水湖の先、十方山がよく見える。北には芸北の山々が広がり、南を見ると大峯山から廿日市市・大竹市方向が望める。



近い将来に個体群の存続が危ぶまれる

■サルメンエビネ（ラン科）

Calanthe tricarinata

ブナ帯の自然度の高い森林下に生える常緑の多年草。北海道，本州，四国，九州，台湾，ヒマラヤに分布する。広島県ではブナ林やブナ帯にあるスギ植林内に生える。



ブナ林と山野草に囲まれた立岩山・市間山の縦走路は、広島県下には数少ない素晴らしい自然が残っている、気持ちよく、心晴れやかに歩ける登山道でした。

ここに、大規模な風力発電施設を建設する計画があると聞くと、この豊かな自然・環境は、次の世代に引き継がなければならない大切な宝物だと強く思った。

秋には、HRCの定例山行で布原からの縦走を計画している。

※[地理院地図に標記された「立岩山」は、「日の平山」です。「立岩山」は標記より東方の三角点（1134.9メートル）の位置です。]

おまけ：尾根筋に取りつく急登で、コシアブラを少しいただいた。SLの助言でスパゲティーにして食べました。誠に美味でした。



ハイキングクラブやまぼうし
ひろしま令峰クラブ（HRC）佐々木英幸